

2月17日(日)夜、サパナで開かれた「元気がでる晩ごはん」に学習者と一緒に参加しました。

参加者はベトナム人6人、ミャンマー人1人、ボランティア4人、合計11人でした。

メインディッシュは季節の魚、鱈です。飯田さんが鱈の説明をしてくれました。その他、卵の花、ワカメのペペロンチーノ風等どれも日本人には、美味しい物ばかりです。ベトナム人にとっては、ワカメと卵の花は食べたことがないらしいです。ベトナム人は全員、ワカメと卵の花を残しそうでしたので、これらは栄養があって美味しいよと説明し食べてもらいましたが、ちょっと無理のようでした。

ミャンマー人の女性がお姉さん手製の振りかけを持参してくれました。全員、ご飯や野菜に振りかけ、とても美味しかったです。持参してくれたもの全て無くなりました。

美味しいお料理と楽しい交流の時間で、次回が楽しみです。

古くからの学習者が、このクラスで知りあった新しい学習者をサッカーグループに誘い、そのグループで飲み会をしていたそうで、数人が少し遅れて来ました。クラスが学習者同志の交流、知り合う場になっています。

